

## ○歯科補綴学2 : 626-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP7

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	*小見山 道 (クラウンブリッジ補綴学)

学修目標 (G I O) と単位数	単位数 : 12単位 歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
評価方法 (E V)	平常試験によって評価点 (100%) とする。 総合医学に含まれる各科目は追試験は行わないが、原則として再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じた重み付けを行い、総合医学全体として評価点を出す。 60点以上を合格とする。

## クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	*小見山 道 (クラウンブリッジ補綴学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画及び処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	*小見山 道、*小林 平、*若見 昌信、*鈴木 浩司、*飯田 崇、*大村 祐史、*浅野 隆、 ※*岩田 好弘、*内堀 聡史、*岩崎 正敏、*本田 実加、*増田 学、*加藤 由佳子、*生田 真衣、 *上里 ちひろ、*神山 裕名、*西森 秀太、*三浦 千晶、*安田 明弘、*阿部 圭甫、 *中島 正、※渡辺 官、※高橋 徹也、*青木 直子
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第6版 矢谷博文 他 医歯薬出版
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～②の平均 : 50%) , および実習 (実習評価 : 50%) の合計。 講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスパワー	【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。ブリッジの製作法を通じて、適合の良いブリッジを製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。 【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。ブリッジの作製過程および手技を学習し、臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものである。進んで学習し実習を行うこと。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/08 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジ補綴学の意義と目的 ブリッジの診療の流れ 診察・診断と感染予防 治療計画を左右する因子 クラウンブリッジの要件	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を理解する。 ブリッジ治療の診断から装着までの診療の流れについて理解する。 感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策を理解する。 治療計画を左右する因子について理解する。 クラウンブリッジの要件について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を説明できる。 3. ブリッジ治療の診断から装着までの診療の流れについて説明できる。 4. 感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策について説明できる。 5. 治療計画を左右する因子について説明できる。 6. クラウンブリッジの要件について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目 : 教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間 : 30分 ・事後学習項目 : 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間 : 90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/08 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジ補綴学の意義と目的 ブリッジの診療の流れ 診察・診断と感染予防 治療計画を左右する因子 クラウンブリッジの要件	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/04/08 (金) 3時限 13:10～14:40	個人トレーの製作	【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。  【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2.ブリッジの精密印象を採得できる適切な個人トレーの設計ができる。 3.個人トレー製作のための適切なトレーレジンの操作ができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習  【学修方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得  【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-4 歯質と歯の欠損の治療 ⑥精密印象採得（寒天・アルジネート連合印象、シリコーン印象）の各基本的操作を実施できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/04/08 (金) 4時限 14:50～16:20	個人トレーの製作	【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。  【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ブリッジの精密印象を採得できる適切な個人トレーの設計ができる。 3.個人トレー製作のための適切なトレーレジンの操作ができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習  【学修方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得  【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/04/15 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの種類と構成 ブリッジの設計 インフォームドコンセント 前処置 支台歯形成	【授業の一般目標】 ブリッジの適応症、構成要素、種類について理解する。 ブリッジの設計について理解する。 インフォームドコンセントの基本的理念、必要なプロセス、ならびに治療の選択に影響する因子を理解する。 ブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容について理解する。 支台歯形成の目的と原則、歯頸部辺縁形態の分類と適応、支台歯形成の手順、注意点を理解する。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/15 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジの種類と構成 ブリッジの設計 インフォームドコンセント 前処置 支台歯形成	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>ブリッジの適応症, 構成要素, 種類を説明できる。</li> <li>ブリッジの設計について説明できる</li> <li>インフォームドコンセントの基本的理念, 治療の選択に影響する因子を説明できる。</li> <li>ブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義, 種類, 内容を説明できる。</li> <li>支台歯形成の目的と原則, 歯頸部辺縁形態の分類と適応, 支台歯形成の手順, 注意点を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。</li> <li>事前学習時間: 30分</li> <li>事後学習項目: 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。</li> <li>事後学習時間: 90分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>マルチメディア, 配付プリント, 教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2022/04/15 (金) 3時限 13:10~14:40	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】</p> <p>小白歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性和方法について理解する。 大白歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 適切な支台歯形成を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。</li> <li>小白歯全部金属冠の支台歯形態を図示し, 歯質の削除ができる。</li> <li>大白歯全部金属冠の支台歯形態を図示し, 歯質の削除ができる。</li> <li>ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。</li> <li>ブリッジの支台歯形成を行うことができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。</li> <li>事前学習時間: 30分</li> <li>事後学習項目: 特になし。</li> <li>事後学習時間: 0分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室: 実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/04/15 (金) 4時限 14:50~16:20	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】</p> <p>小白歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性和方法について理解する。 大白歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 適切な支台歯形成を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。</li> <li>小白歯全部金属冠の支台歯形態を図示し, 歯質の削除ができる。</li> <li>大白歯全部金属冠の支台歯形態を図示し, 歯質の削除ができる。</li> </ol>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/15 (金) 4時限 14:50~16:20	ブリッジの支台歯形成	<p>4.ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。 5.ブリッジの支台歯形成を適切に行うことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/04/22 (金) 2時限 10:40~12:10	印象採得 プロビジョナル レストレーション	<p>【授業の一般目標】 印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材、印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。 プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を理解する。 プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を理解する。 仮着用セメントの種類と特徴を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.印象材の種類と特徴を説明できる。 3.印象用器材、印象法の種類と特徴を説明できる。 4.歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5.プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明できる。 6.プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 7.仮着用セメントの種類と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2022/04/22 (金) 3時限 13:10~14:40	プロビジョナル レストレーションの 製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ボンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2.プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 3.歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 4.ボンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/22 (金) 3時限 13:10～14:40	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p>	<p>* 山 裕名 * 森 秀太 * 三浦 千晶 * 安部 明弘 * 阿部 圭甫 * 中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 * 青木 直子</p>
2022/04/22 (金) 4時限 14:50～16:20	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を習得する。 3. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 4. ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p>	<p>* 小見山 道 * 小林 平 * 若見 昌信 * 鈴木 浩司 * 飯田 崇 * 大村 祐史 * 浅野 隆 * 内堀 聡史 * 岩田 好弘 * 岩崎 正敏 * 本田 実加 * 増田 学 * 加藤 由佳子 * 生田 真衣 * 上里 ちひろ * 神山 裕名 * 西森 秀太 * 三浦 千晶 * 安部 明弘 * 阿部 圭甫 * 中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 * 青木 直子</p>
2022/05/06 (金) 2時限 10:40～12:10	顎間関係の記録（咬合採得） 患者情報の記録と伝達	<p>【授業の一般目標】 顎間関係の記録（咬合採得）の意義について理解する。 咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。 咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。 口腔内情報を記録する意義について理解する。 色調の選択と伝達方法について理解する。 歯の位置と形態の記録法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎間関係の記録（咬合採得）の意義について説明できる。 3. 咬合採得する下顎位と咬合採得法について説明できる。 4. 咬合支持に応じた咬合採得法について説明できる。 5. 口腔内情報を記録する意義について説明できる。 6. 色調の選択と伝達方法について説明できる。 7. 歯の位置と形態の記録法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	<p>* 小見山 道 * 飯田 崇 * 岩田 好弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/06 (金) 2時限 10:40～12:10	顎間関係の記録 (咬合採得) 患者情報の記録と 伝達	講義 【場所(教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑥色調選択(シェードテイキング)を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/05/06 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの印象採 得・咬合採得	【授業の一般目標】 印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具、方法について説明できる。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 印象材の練和ができる。 3. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 4. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し、精密印象採得ができる。 5. 歯肉圧排ができる。 6. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/05/06 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの印象採 得・咬合採得	【授業の一般目標】 印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具、方法について説明できる。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 印象材の練和ができる。 3. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 4. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し、精密印象採得ができる。 5. 歯肉圧排ができる。 6. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 7. シリコンを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/06 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの印象採得・咬合採得	<p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/05/13 (金) 2時限 10:40～12:10	咬合と下顎位	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 3. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 4. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2022/05/13 (金) 3時限 13:10～14:40	作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2. 要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3. ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/13 (金) 3時限 13:10～14:40	作業模型の製作	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/05/13 (金) 4時限 14:50～16:20	作業模型の製作	【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2. 要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3. ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/05/20 (金) 2時限 10:40～12:10	咬合と下顎運動の決定要素	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書 下顎運動に関連する演習を行う。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/20 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合と下顎運動の決定要素	イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/05/20 (金) 3時限 13:10~14:40	作業模型の咬合器付着	【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 g 患者情報の記録と伝達  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/05/20 (金) 4時限 14:50~16:20	作業模型の咬合器付着	【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/05/27 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合器	【授業の一般目標】 フェイスボウトランスファーとチェックバイトについて理解する。 パントグラフによる下顎運動の記録法について理解する。 咬合器の分類と特徴について理解する。 半調節性咬合器の調節方法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. フェイスボウトランスファーとチェックバイトを説明できる。 3. パントグラフによる下顎運動の記録法を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/27 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合器	<p>4. 咬合器の分類と特徴を説明できる。 5. 半調節性咬合器の調節方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ④歯列と咬合を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2022/05/27 (金) 3時限 13:10~14:40	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/05/27 (金) 4時限 14:50~16:20	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/27 (金) 4時限 14:50~16:20	歯型の調整 ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後学習項目：特になし。</li> <li>・事後学習時間：0分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*西森 秀太</li> <li>*三浦 千晶</li> <li>*安田 明弘</li> <li>*阿部 圭甫</li> <li>*中島 正</li> <li>渡辺 官</li> <li>高橋 徹也</li> <li>*青木 直子</li> </ul>
2022/06/03 (金) 2時限 10:40~12:10	作業用模型の製作 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 作業用模型の構成と要件について理解する。 模型材の種類と性質を理解する。 作業用模型の種類と特徴を理解する。 ワックスの種類と要件、取り扱い方法を理解する。 ワックスアップの方法と注意事項を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業用模型の構成と要件を説明できる。 3. 模型材の種類と性質を説明できる。 4. 作業用模型の種類と特徴を説明できる。 5. ワックスの種類と要件、取り扱い方法を理解する。 6. ワックスアップの方法と注意事項を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*小見山 道</li> <li>*飯田 崇</li> <li>*岩田 好弘</li> </ul>
2022/06/03 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*小見山 道</li> <li>*小林 平</li> <li>*若見 昌信</li> <li>*若見 浩司</li> <li>*鈴木 崇</li> <li>*飯田 祐史</li> <li>*大村 隆</li> <li>*浅野 聡史</li> <li>*内堀 史</li> <li>*岩田 好弘</li> <li>*岩崎 正敏</li> <li>*本田 実加</li> <li>*増田 学</li> <li>*加藤 由佳子</li> <li>*生田 真衣</li> <li>*上里 ちひろ</li> <li>*神山 裕名</li> <li>*西森 秀太</li> <li>*三浦 千晶</li> <li>*安田 明弘</li> <li>*阿部 圭甫</li> <li>*中島 正</li> <li>渡辺 官</li> <li>高橋 徹也</li> <li>*青木 直子</li> </ul>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/03 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/06/03 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/06/10 (金) 2時限 10:40～12:10	第1回平常試験・ 解説講義	<p>【授業の一般目標】 平常試験までの授業内容を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 8回の講義内容から多肢選択式問題で50問を出題する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 多肢選択式問題</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/10 (金) 2時限 10:40~12:10	第1回平常試験・ 解説講義	⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/06/10 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *若見 浩司 *鈴木 崇 *飯田 祐史 *大村 隆 *浅野 聡史 *内堀 好弘 *岩田 正敏 *岩崎 実加 *本田 学 *増田 由佳子 *加藤 真衣 *生田 ちひろ *上里 裕名 *神山 秀太 *西森 千晶 *三浦 明弘 *安田 圭甫 *阿部 正 *中島 官 渡辺 徹也 高橋 直子 *青木 直子
2022/06/10 (金) 4時限 14:50~16:20	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *若見 浩司 *鈴木 崇 *飯田 祐史 *大村 隆 *浅野 聡史 *内堀 好弘 *岩田 正敏 *岩崎 実加 *本田 学 *増田 由佳子 *加藤 真衣 *生田 ちひろ *上里 裕名 *神山 秀太 *西森 千晶 *三浦 明弘 *安田 圭甫 *阿部 正 *中島 官 渡辺 徹也 高橋 直子 *青木 直子
2022/06/17 (金) 2時限 10:40~12:10	埋没・鋳造・熱処理・研磨	<p>【授業の一般目標】 埋没材の種類と性質を理解する。 埋没法を理解する。 鋳造用金属の所要性質と種類を理解する。 鋳造法の種類と方法を理解する。 鋳造後の処理と研磨方法を理解する。</p>	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/17 (金) 2時限 10:40～12:10	埋没・鋳造・熱処理・研磨	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 埋没材の種類と性質を説明できる。</li> <li>3. 埋没法を説明できる。</li> <li>4. 鋳造用金属の所要性質と種類を説明できる。</li> <li>5. 鋳造法の種類と方法を説明できる。</li> <li>6. 鋳造後の処理と研磨方法を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。</li> <li>・事前学習時間：30分</li> <li>・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。</li> <li>・事後学習時間：90分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>マルチメディア, 配付プリント, 教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2022/06/17 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。</li> <li>2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。</li> <li>・事前学習時間：30分</li> <li>・事後学習項目：特になし。</li> <li>・事後学習時間：0分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/06/17 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。</li> <li>2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。</li> <li>・事前学習時間：30分</li> <li>・事後学習項目：特になし。</li> <li>・事後学習時間：0分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有 実習</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/17 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	<p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/06/24 (金) 2時限 10:40～12:10	口腔内試適と装着 術後管理 装着後に発生する 問題とその対応	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ試適時の調整手順・調整方法について理解する。 ブリッジ咬合面の調整方法について理解する。 各種歯科用セメントの特徴について理解する。 術後管理の重要性について理解する。 補綴装置装着後に発生する問題の原因、解決法について理解する。 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブリッジ試適時の調整手順・調整方法を説明できる。 3. ブリッジ咬合面の調整方法を説明できる。 4. 各種歯科用セメントの特徴を説明できる。 5. 術後管理の重要性を説明できる。 6. 補綴装置装着後に発生する問題の原因、解決法を説明できる。 7. 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2022/06/24 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鑄造操作を適切に行うことができる。 5. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *淺野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/24 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鑄造	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/06/24 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鑄造操作を適切に行うことができる。 5. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/07/01 (金) 2時限 10:40～12:10	支台築造 CAD/CAMによるク ラウンブリッジの 製作	<p>【授業の一般目標】 支台築造の臨床的意義、選択基準を理解する。 築造窩洞形成の原則と手順を理解する。 支台築造の種類と方法を理解する。 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 支台築造の臨床的意義、選択基準を説明できる。 3. 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 4. 支台築造の種類と方法を説明できる。 5. CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 6. CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 7. CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/01 (金) 2時限 10:40～12:10	支台築造 CAD/CAMによるク ラウンブリッジの 製作	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2022/07/01 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鑄造操作を適切に行うことができる。 5. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/07/01 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鑄造操作を適切に行うことができる。 5. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/01 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鑄造	<p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/07/08 (金) 2時限 10:40～12:10	レジン前装冠 ハイブリッド型コン ポジットレジン クラウン 陶材焼付冠 オールセラミック 修復	<p>【授業の一般目標】 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法を理解する。 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を理解する。 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 3. ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 4. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2022/07/08 (金) 3時限 13:10～14:40	ろう着用コア採 得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着間隙を適切に求めることができる。 3. ろう着のためのコア採得ができる。 4. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/08 (金) 3時限 13:10～14:40	ろう着用コア一採 得 ろう着用埋没 ろう着	<p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/07/08 (金) 4時限 14:50～16:20	ろう着用コア一採 得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着間隙を適切に求めることができる。 3. ろう着のためのコア一採得ができる。 4. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/07/15 (金) 2時限 10:40～12:10	従来ブリッジと接 着ブリッジ 口腔インプラント 支台のクラウンブ リッジ	<p>【授業の一般目標】 ワンピースキャスト法（一塊鑄造法）とろう付け法の違いについて理解する。 ブリッジの固定性連結、半固定性連結、可撤性連結の違いについて理解する。 接着ブリッジの利点、適応症、製作法について理解する。 接着ブリッジ装着時の金属ならびに歯質被着面処理について理解する。 口腔インプラントの上部構造について理解する。 口腔インプラント補綴装置の選択基準について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ワンピースキャスト法（一塊鑄造法）とろう付け法の違いを説明できる。 3. ブリッジの固定性連結、半固定性連結、可撤性連結の違いを説明できる。 4. 接着ブリッジの利点、適応症、製作法を説明できる。 5. 接着ブリッジ装着時の金属ならびに歯質被着面処理を説明できる。 6. 口腔インプラントの上部構造を説明できる。 7. 口腔インプラント補綴装置の選択基準を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/15 (金) 2時限 10:40～12:10	従来ブリッジと接着ブリッジ 口腔インプラント 支台のクラウンブリッジ	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。 E-3-4) - (3) 口腔インプラント ⑥口腔インプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 ⑦口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。</p>	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/07/15 (金) 3時限 13:10～14:40	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2.ろう着間隙を適切に求めることができる。 3.ろう着のためのコア一採得ができる。 4.ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5.正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/07/15 (金) 4時限 14:50～16:20	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2.ろう着間隙を適切に求めることができる。 3.ろう着のためのコア一採得ができる。 4.ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5.正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作</p>	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/15 (金) 4時限 14:50～16:20	ろう着用コア採得 ろう着用埋没 ろう着	a ロストワックス法による製作  【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/07/22 (金) 2時限 10:40～12:10	高齢者・要介護者におけるクラウンブリッジ補綴 歯周病患者におけるクラウンブリッジ補綴 顎関節症患者におけるクラウンブリッジ補綴	【授業の一般目標】 高齢者へのクラウンブリッジ治療時の注意事項を理解する。 補綴前処置としての歯周治療の意義を理解する。 適切なマージン設定、カンテア形態について理解する。 エマーゼンスプロファイル、隣接面形態について理解する。 顎関節症に対する補綴歯科治療について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者へのクラウンブリッジ治療時の注意事項を説明できる。 3. 補綴前処置としての歯周治療の意義を説明できる。 4. 適切なマージン設定、カンテア形態を説明できる。 5. エマーゼンスプロファイル、隣接面形態を説明できる。 6. 顎関節症に対する補綴歯科治療を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ア 診察  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-（1）クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4-（11）口腔・顎顔面領域の機能障害 ①咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-（1）クラウンブリッジによる治療 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/07/22 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの調整 研磨 完成	【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/22 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/07/22 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2022/08/26 (金) 2時限 10:40～12:10	第2回平常試験・ 解説講義	<p>【授業の一般目標】 第1回平常試験から以降の講義内容について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 第1回平常試験以降の6回の講義内容から多肢選択式問題で50問を出題する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 多肢選択式問題</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/26 (金) 2時限 10:40～12:10	第2回平常試験・ 解説講義	E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/08/26 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの調整 研磨 完成	【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作  【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、 生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2022/08/26 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの調整 研磨 完成	【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作  【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/26 (金) 4時限 14:50~16:20	ブリッジの調整 研磨 完成	②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、 生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明で きる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子



## 先端歯科補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	後学期	*小見山 道 (クラウンブリッジ補綴学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画及び処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	*小見山 道、*小林 平、*飯田 崇、*鈴木 浩司、*井下田 繁子、*北川 剛至、*玉木大之、*村上 洋、*高橋 佑次
教科書	よくわかる口腔インプラント学 第3版 赤川安正 松浦正朗 矢谷博文 渡邊文彦 医歯薬出版
参考図書	歯学生の口腔インプラント学 高森 等 佐藤 淳一 医歯薬出版 口腔インプラント治療指針 2016 公益社団法人 日本口腔インプラント学会 医歯薬出版 歯周病患者におけるインプラント治療の指針 2018 特定非営利活動法人 日本歯周病学会 医歯薬出版
評価方法 (EV)	平常試験によって評価点 (100%) とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	新しい歯科補綴学に関する知識の学修となります。患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。臨床における実地経験を基に教授します。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/13 (火) 2時限 10:40~12:10	スポーツ歯学概論 (1)	<p>【授業の一般目標】 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、最新のスポーツ歯科医学や睡眠健康科学の知識、態度、技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スポーツと顎口腔機能の関わりについて説明できる 3. スポーツにおけるマウスガードの役割を説明できる。 4. スポーツにおける歯科的外傷と対応を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スポーツ歯学とカスタムメイドマウスガードについて 事前学習時間：約1時間 事前学習項目：スポーツ歯学とカスタムメイドマウスガードについて 事前学習時間：約1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：あり：参考図書の事前学修 学修媒体：授業配布プリント 参考図書：要説スポーツ歯学</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 a 歯の亀裂・破折・脱臼</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 c 下顎骨骨折 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 イ オーラルアプライアンス 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 h 損傷</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 ①外傷の種類、特徴及び治癒過程を説明できる。 ⑤軟組織損傷の種類、症状及び処置法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。</p>	*鈴木 浩司
2022/09/27 (火)	スポーツ歯学概論	【授業の一般目標】	*鈴木 浩司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	(2)	<p>国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、最新のスポーツ歯科医学や睡眠健康科学の知識、態度、技能を習得する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. スポーツと顎口腔機能の関わりについて説明できる。  3. スポーツにおけるマウスガードの役割を説明できる。  4. スポーツにおける歯科的外傷と対応を説明できる。  5. アンチドーピングについて説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  事前学習項目：スポーツにおける口腔外傷とアンチ・ドーピングについて  事前学習時間：約1時間  事後学習項目：スポーツにおける口腔外傷とアンチ・ドーピングについて  事後学習時間：約1時間</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング：あり：参考図書の事前学修  学修媒体：授業配布プリント  参考図書：要説スポーツ歯学</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  302教室、第5実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患  2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療  ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療  a 歯の亀裂・破折・脱臼</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  7 特殊な装置による治療  イ オーラルアプライアンス  必修の基本的事項  7 主要な疾患と障害の病因・病態  イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念  h 損傷  o 薬物・放射線による有害事象</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b>  E 臨床歯学  E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患  E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患  E-2-4) - (2) 外傷  ③歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。  ⑤軟組織損傷の分類、症状及び処置法を説明できる。  C 生命科学  C-6 生体と薬物  C-6-4) 薬物の副作用と有害作用  ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。</p>	*鈴木 浩司
2022/10/11 (火) 2時限 10:40～12:10	睡眠時無呼吸症候群 (1)	<p><b>【授業の一般目標】</b>  国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 睡眠の生理について説明できる。  3. 基礎的な睡眠医学について説明できる。  4. 睡眠時無呼吸症候群の特徴について説明できる。  5. 睡眠時無呼吸症候群の合併症について説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  事前学習項目：睡眠の基本的事項、睡眠障害とは、睡眠時無呼吸症について  事前学習時間：約1時間  事後学習項目：睡眠の基本的事項、睡眠障害とは、睡眠時無呼吸症について  事後学習時間：約1時間</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング：あり：参考図書の事前学修  学修媒体：授業配布プリント  参考図書：睡眠呼吸障害 診断・治療ハンドブック</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  302教室、第5実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  1 病態  ク 睡眠時無呼吸</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b>  歯科医学総論  総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢  1 細胞・組織・器官の構造と機能  ウ 呼吸器・循環器系</p>	*鈴木 浩司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/11 (火) 2時限 10:40~12:10	睡眠時無呼吸症候群 (1)	<p>a 気道、肺、呼吸筋 b 心臓、脈管系 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 イ オーラルアプライアンス</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。 ②医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。</p>	*鈴木 浩司
2022/10/18 (火) 2時限 10:40~12:10	睡眠時無呼吸症候群 (2)	<p>【授業の一般目標】 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 睡眠時無呼吸症候群に対する治療について説明できる。 3. 睡眠時無呼吸症候群への歯科的対応を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：睡眠時無呼吸症の治療とこの中で歯科医療の果たす役割について 事前学習時間：約1時間 事後学習項目：睡眠時無呼吸症の治療とこの中で歯科医療の果たす役割について 事後学習時間：約1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：あり：参考図書の前学修 学習媒体：授業配布プリント 参考図書：睡眠呼吸障害 診断・治療ハンドブック</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ク 睡眠時無呼吸</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 イ オーラルアプライアンス 歯科医学総論 総論IV 主要症候 1 全身の症候 ウ 呼吸器・循環器系</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。 ②医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。</p>	*鈴木 浩司
2022/10/25 (火) 2時限 10:40~12:10	ブラキシズム	<p>【授業の一般目標】 ブラキシズムへの適切な歯科的対応を行うために、ブラキシズムの定義と病因について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブラキシズムの定義について説明できる。 3. ブラキシズムの病因について説明できる。 4. ブラキシズムの顎口腔領域への影響について説明できる。 5. ブラキシズムへの歯科的対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：ブラキシズムの定義と病因 事前学習時間：30分 事後学修項目：ブラキシズムの定義と病因 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論</p>	*飯田 崇 *小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/25 (火) 2時限 10:40～12:10	ブラキシズム	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 キ ブラキシズム  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。	*飯田 崇 *小見山 道
2022/11/01 (火) 2時限 10:40～12:10	CAD/CAMによる歯冠補綴治療 1	【授業の一般目標】 CAD/CAMによる歯冠補綴治療の歴史を学ぶ。 CAD/CAMによる歯冠補綴治療の必要器材を理解する。 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによる歯冠補綴装置製作の特徴と流れを理解する。 CAD/CAMによる歯冠補綴装置製作時の各ステップにおける注意点を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. CAD/CAMの歴史を学ぶ。 3. CADによるデザインの特徴を理解する。 4. CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 5. CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 6. CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。	*小林 平
2022/11/08 (火) 2時限 10:40～12:10	CAD/CAMによる歯冠補綴治療 2	【授業の一般目標】 CAD/CAMによる歯冠補綴装置の臨床的応用を理解する。 CAD/CAMによる歯冠補綴装置に応用する材料について学ぶ。 CAD/CAMによる歯冠補綴装置製作時の注意点を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 3. CAD/CAMの将来性について説明できる。 4. CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 5. CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。	*小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/15 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント 学1	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔インプラントの歴史、材料の変遷、生体反応について述べるができる。 3. 口腔インプラント治療の特徴および基本構造について説明できる。 4. インプラント周囲組織と歯周組織の構造の違いを説明できる。 5. インプラントの生理学的特徴を説明できる。 6. インプラントに対する生体反応を説明できる。 7. インプラントの成功基準について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 事前学習時間：60分 事後学習項目：授業配布プリント、参考図書の授業範囲の確認 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：参考図書の事前学習 学習媒体：教科書、参考図書、配布プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 11 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 ア 口腔インプラント用材料</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計 b 埋入計画の立案 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス b 残存組織の変化とその対応</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ⑤口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(3) 口腔インプラント ①口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。 ②口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。 ③口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。</p>	*村上 洋 *井下田 繁子
2022/11/22 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント 学2	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インプラント治療の流れを説明できる。 3. インプラント治療における医療面接、インフォームドコンセントを理解できる。 4. インプラント治療のリスクファクターについて説明できる。 5. インプラント治療における全身状態の評価の目的と方法を説明できる。 6. インプラント治療で問題となる全身疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：教科書、参考図書の授業範囲を熟読する。 準備学習時間：30分 事後学習項目：配布プリントおよび参考図書の授業範囲の確認 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし：参考図書の事前学習 学習媒体：教科書、参考図書、配布プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p>	*井下田 繁子 *玉木 大之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/22 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント学2	<p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計 b 埋入計画の立案 g 患者情報の記録と伝達</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(3) 口腔インプラント ②口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。 ③口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。 ④口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。</p>	*井下田 繁子 *玉木 大之
2022/11/29 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント学3	<p>【授業の一般目標】</p> <p>欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔インプラント治療に必要な局所的リスクファクター、診察および検査について説明できる。 3.口腔インプラント治療における診断と治療計画の立案について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：参考図書 of 授業範囲を熟読する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料を熟読する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑧歯の欠損に対する補綴治療ができる。</p>	*村上 洋 *井下田 繁子
2022/12/06 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント学4	<p>【授業の一般目標】</p> <p>欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント治療に必要な局所解剖を説明できる。 3.インプラント埋入手術について説明できる。 4.滅菌と消毒について説明できる。 5.全身管理について説明できる。 6.インプラント関連術式の種類とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学習項目：参考図書 of 授業範囲を熟読する。 準備学習時間：45分 事後学習項目：参考図書 of 授業範囲を熟読する。 事後学習時間：45分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 a インプラント埋入手術(一次手術)</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*玉木 大之 *高橋 佑次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/06 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント学4	D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ⑤口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*玉木 大之 *高橋 佑次
2022/12/13 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント学5	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. インプラント埋入手術に関連する合併症を説明できる。 3. インプラント上部構造の種類を説明できる。 4. インプラント補綴の術式を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目: 参考図書の授業範囲を熟読する。 準備学習時間: 60分 事後学習項目: 参考図書の授業範囲を熟読する。 事後学習時間: 60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 a インプラント埋入手術(一次手術)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) 口腔インプラント ④口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 ⑤埋入手術方法を説明できる。 ⑥口腔インプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。	*玉木 大之 *高橋 佑次
2022/12/20 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント学6	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. インプラントの補綴術式を説明する。 3. インプラント上部構造の種類・固定方法を説明する。 4. インプラント補綴処置に関する合併症を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目: 参考図書の授業範囲を熟読する。 準備学習時間: 60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 302教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 h 装着  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) 口腔インプラント ②口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。 ⑦口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。	*高橋 佑次 *玉木 大之
2023/01/10 (火) 2時限	口腔インプラント学7	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関	*高橋 佑次 *井下田 繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	口腔インプラント学7	<p>する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>インプラント補綴処置に関する合併症を説明する。</li> <li>メンテナンスの方法及びインプラント周囲組織の管理について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：参考図書の授業範囲を熟読する。  事前学習時間：60分  事後学習項目：配布資料を熟読する。  事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無  学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論  各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  8 指導と管理  オ リコールとメンテナンス  f インプラント支持療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論  各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  8 指導と管理  オ リコールとメンテナンス  e 補綴装置の破損とその対応</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学  E-3 歯と歯周組織の常態と疾患  E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療  E-3-4) - (3) 口腔インプラント  ②口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。  ⑧メンテナンスの重要性を説明できる。</p>	<p>*高橋 佑次  *井下田 繁子</p>
2023/01/17 (火) 2時限 10:40~12:10	口腔インプラント演習	<p>【授業の一般目標】</p> <p>欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>インプラント埋入手術について説明できる。</li> <li>インプラント印象採得について説明できる。</li> <li>インプラント上部構造装着について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学習項目：参考図書の授業範囲を熟読する。  準備学習時間：30分  事後学習項目：参考図書の授業範囲を熟読する。  事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無  学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論  各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  6 インプラント義歯による治療  イ 臨床操作  d 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論  各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  6 インプラント義歯による治療  イ 臨床操作  d 印象採得  h 装着</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>G 臨床実習  G-3 基本的臨床技能  ⑧歯の欠損に対する補綴治療ができる。</p>	<p>*高橋 佑次  *井下田 繁子  *北川 剛至  *玉木 大之  *村上 洋</p>
2023/01/24 (火) 2時限 10:40~12:10	平常試験	<p>【授業の一般目標】</p> <p>欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	<p>*村上 洋  *井下田 繁子  *玉木 大之  *北川 剛至  *小見山 道</p>



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/01/24 (火) 2時限 10:40~12:10	平常試験	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 口腔インプラント治療に関する基本的知識を説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：配布資料を熟読する。 事前学習時間：120分 事後学習項目：問題の解答を配布資料で確認する。 事後学習時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 a インプラント埋入手術(一次手術)</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 h 装着 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス f インプラント支持療法 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(3) 口腔インプラント ①口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。 ②口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。 ③口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。 ④口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 ⑤埋入手術方法を説明できる。 ⑥口腔インプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 ⑦口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 ⑧メンテナンスの重要性を説明できる。</p>	<p>*飯田 崇 *鈴木 浩司 *小林 平 *高橋 佐次</p>